

副作用がないがん治療

免疫力アップ・がん増殖抑制

環状重合乳酸(M-MAF)

# M-MAFについて

がん細胞だけを消滅させ、正常細胞に被害を与えない治療M-MAFこそが、理想の物質なのです。

M-MAFは 環状重合乳酸(環の状態に重なり合った構造の乳酸)

この環状構造ゆえにM-MAFは、がん細胞のエネルギー作成を邪魔してがん細胞を自滅(アポトーシス)させていきます。

マクロファージを活性化させる物質に M-MAFがあります。

(M-MAFのMは 代謝のmetabolicの頭文字。糖代謝を嫌気性代謝から好気性代謝に改善してミトコンドリア機能を改善します。MAF(Macrophage Activating Factor)

M-MAFはマクロファージを活性化させ、体内に侵入してきた「がん細胞」攻撃して自滅(アポトーシス)、ウイルス・細菌を攻撃して分解、消化します。

## M-MAFの抗腫瘍効果

食材はブドウ糖になりブドウ糖から ATP(アデノシン三リン酸)というエネルギーを作り活動します。

エネルギーを生み出す時に働く酵素を、LDH (乳酸脱水素酵素) といい、LDHが正常に働かないとエネルギーのATPは作り出されません。

悪性細胞はLDH-Kという、LDHの変形した酵素を持っています。

がん細胞は、このLDH-Kでブドウ糖からATPをつくり出します。

M-MAFは、LDH-Kと特異的に結合して、酵素の働きを妨害します。

悪性細胞は、ATPエネルギーを作り出すことが出来ず自滅していきます。

正常細胞を活性化、ミトコンドリアを活性化させて、がん細胞のアポトーシス(死滅)を誘導します。

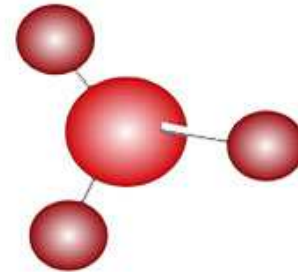
# 「がん細胞」 エネルギーを得る流れ



食事をする



【栄養素】が体内へ



【LDH-K】が  
栄養素を解糖



【がん細胞】が  
エネルギーを得る

このように、がん細胞がエネルギーを得るためには【LDH-K】が不可欠です。

# M-MAFの作用



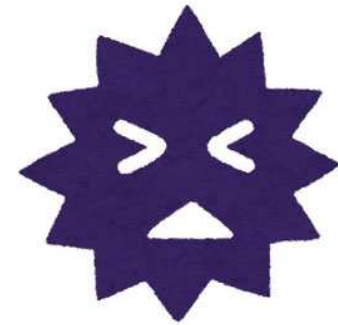
【栄養素】が体内へ



【M-MAF】が  
【LDH-K】に作用



【LDH-K】が  
無効化



【がん細胞】が  
エネルギーを  
得られなくなる

M-MAFは【LDH-K】に特異的に結合して無効化します。がん細胞は、エネルギーを絶たれ死滅に追い込まれる。

## 安全性・治療効果

- 10g/日 3年以上 連用した患者様の血液検査でも、全く異常所見はありません。安全な製剤としてご使用下さい。  
急性毒性試験 3000mg/kg 以上 (経口投与)
- 重症がん患者様は、より多くの量 (20g/日以上) の内服することで、胸水・腹水減少、がん性疼痛の改善、転移の消失などの効果が期待できます。
- 全身の免疫細胞(特にNK細胞とマクロファージ)を活性化します。
- 全身の代謝が活性化することで、排尿や排便が増え食欲も増進することがあります。

## 用法・用量

- 容量：400g粉末 水,ぬるま湯,ジュースなどに溶かして服用下さい。  
(粉が残らないように良くかき混ぜて下さい)  
又ヨーグルトにかけてお召し上がり下さい。
- 初期がん(ステージ0~3) 抗がん剤との併用  
1日10g (朝食後5g、就寝前5g)
- 末期がん(ステージ 4)  
1日20g (朝食後 5 g、昼食後 5 g、就寝前10g)
- 治療説明・患者様価格は、相談室:080-2741-8859にご連絡下さい。